契 約 変 更 理 由 書

神 戸 市

工事名	神戸空港連絡橋上部工（拡幅部）製作・架設工事

工事概要

当初

鋼橋延長 L=約 1,180m、W=20.1m（内、3.4m を拡幅）
工場製作工 1,087.8t、架設工 1 式、橋面工 1 式

変更後

鋼橋延長 L=約 1,180m、W=20.1m（内、3.4m を拡幅）
工場製作工 1,089.5t、架設工 1 式、橋面工 1 式

契約変更の理由

（設計変更の理由）

①本工事の吊足場は、既設橋梁からの張出足場であり、組立解体は橋梁点検車での施工が必須となる。当初、足場の設置範囲は、新設部の排水管設置を考慮して、主桁桁下までと想定していたが、歩道拡幅後に行う足場撤去時は橋梁点検車の作業範囲外となることが判明した。したがって、新設部の排水管は、足場設置前に、橋梁点検車による先行施工を行うことし、橋梁点検車が増工となる。また、足場の設置範囲は桁架設に必要な範囲のみに変更し、減工となる。

②当初、グースアスファルト施工前の素地調整は 4 種ケレンを想定していたが、鋼床版とグースアスファルトの接着性を高め、ブリスタリング（舗装の膨れ）の発生を抑えるためには、1 種ケレンが必要となることが判明したため、1 種ケレンが増工となる。

③その他、数量に増減が生じた。